

第158回（平成15年度第4回）備中地区司書部会報告

期 日：平成15年12月17日（水） 10：00～16：00

会 場：県立倉敷工業高等学校 図書室

参加人数：20名

司会進行：（全体進行）倉敷工業高校 司書 吉田直子

（研修会進行）川崎医大附属高校 司書 佐藤美由紀

記 録：笠岡商業高校 西江恭子

1. 開会

2. 報告

（1）平成15年度第2回司書部会理事会報告

協議事項 平成17年度研修会内容、講演がよいか発表がよいかについて。
発表機会のなかった地区（笠岡など）で発表をお願いした方が、
活気が出るのではないか。又講演では状況が変わったときに、
難しくなるのではという意見が出された。

（2）平成16年度岡山県学校司書研究協議会（倉敷大会）実行委員会報告

3. 研修

「新撰組を堪能する」 県立倉敷中央高校 東根さやか司書

4. 協議

平成16年度岡山県学校司書研究協議会（倉敷大会）のための打ち合わせ

「総合的な学習と学校図書館研究班」と「生徒を惹きつける図書館作り（図書館改造）研究班」に分かれて協議。

総合的な学習と学校図書館研究班

倉敷青陵高校 倉敷商業高校 倉敷南高校 倉敷中央高校
井原高校 総社南高校 水島工業高校 鴨方高校

は班長

< 検討内容 >

一部の学校を除いて、高校では「総合的な学習の時間」の取組みは低調である。従って、この授業に図書館が系統的、継続的に利用されることも少ない。しかし、先生方が図書館を利用すればどのような授業展開ができるのか、具体的なイメージを持っていないことも利用の少なさに繋がっていると思う。また、司書も今までに授業と連係した経験が少なく、先生にどのような提案ができるか不安が大きい。そこで、授業との連係にあたって、図書館側がどのような準備、体制を整えておくべきかのマニュアル化に取り組みたい。

まず、授業前、授業中、授業後の枠組みの中で図書館がやるべきことを洗い出してみる。また、生徒側のレポート作成もマルチメディア化しているので、学校図書館で考えなければならない、著作権についても研究する。

担当班 授業前 水工（二熊）倉敷南（小寺）
授業中 青陵（坂口）倉商（綾野）鴨方（太田）
著作権 中央（東根）総社南（寺田）井原（池田）
授業後 全員

生徒を惹きつける図書館作り（図書館改造）研究班

倉敷工業高校 高梁高校 玉島商業高校 笠岡工業高校
天城高校 高松農業高校 古城池高校 玉島高校
笠岡高校 笠岡商業高校 川崎医大附属高校 矢掛高校
新見北高校 は班長

「生徒を惹きつける図書館作り（図書館改造）」

各校での取り組みを発表。

- ・生徒を図書館に集めるためには、本の内容もさることながら、配架・カウンターの位置等が重要になってくると思われる。
- ・今まで図書館に来たことのない生徒をいかに惹きつけるか。
一度でも来させることが出来たら、中に何かがあるということはわかってもらえるのではないか。

図書館に来てもらう

来てみたら楽しい、役立つ・・・コーナー等雰囲気作り

どのように人を奥に導くか・・・わかりやすい案内

という3段階に分けて進める。

倉敷工業高校 新見北高校 玉島高校 笠岡工業高校
笠岡高校 玉島商業高校 高松農業高校 笠岡商業高校
天城高校 川崎医大附属高校 高梁高校 古城池高校 矢掛高校